

PRESS RELEASE

■ 内容・取材についてのお問い合わせ

JICA 中部 市民参加協力課

TEL: 052-533-1387 FAX: 052-564-3751

三重県から第1号！ 調理済み油を再生してフィリピンのジプニーを走らせよう！

JICAの「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」に仮採択

国際協力機構（JICA）は、9月2日付で株式会社キャリアカーサービス（三重県津市）の提案する「地産地消型バイオディーゼル生産システム普及のための案件化調査」を仮採択しました。JICAの案件化調査においては、三重県企業初めての仮採択となります。

フィリピン国では、急速な経済発展と都市化により、水質汚染や大気汚染が大きな問題となっています。家庭での調理に使用される油（主にココナッツ油）が、未処理のまま排水として台所から流されていることも、水質汚染発生源の一つとして問題視されています。

株式会社キャリアカーサービスは、同国ラグーナ州ロスバーニョス市をモデル地区とし、一般家庭から調理済み油を回収し、バイオディーゼル燃料化、さらに地元の公共交通機関であるジプニー組合を通じ、ジプニーの燃料として使用することで、地産地消型バイオディーゼル燃料生産事業の実現に向けた調査を、JICAと連携して行います。



案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されております。2014年度は本年5月に公示を行い、176件の応募のうち26件が仮採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから採択となり、順次調査を実施します。